

# 1. 譲渡後の飼い主教育～適正飼養

譲渡後の猫たちが適正に飼育されるように新しい飼い主をサポートしていきましょう。最も大切なことは「不妊去勢手術」がきちんと実施されたかどうかの確認です。譲渡した猫が新たな子猫を産んで行政に持ち込まれるという悪循環にならないように、100%の実施率を目指しましょう。

## 不妊去勢手術の実施確認

誓約書どおりに不妊去勢手術が実施されたことを、報告書として提出してもらう自治体が増えています。譲渡時に往復はがきや切手付きの封書を渡して「手術を実施した日・病院名・譲渡後の飼育状況」などの返信をお願いしているところや、手術を執刀した獣医師（動物病院）による「不妊去勢手術済み証明書」の添付を求めるところもあります。報告がない場合や報告の内容に不明な点がある場合は、電話や家庭訪問で確認・再度指導をしましょう。こうした確認が人員不足などで難しい場合は、動物愛護推進員やボランティアの手を借りて行っている自治体もあります。



## 適正飼養の指導

### ■ 猫の適正飼養のポイントは4つです。

譲渡した猫の新しい飼い主にもしっかりと伝えていきましょう。

譲渡時に説明するほか、適正飼養のパンフレットや、室内飼育を紹介するビデオを作って伝えているところもあります。電話や来所での相談にも答えられるように猫の行動学や飼育方法などについて勉強するとよいでしょう。また「犬のしつけ方教室」のように、猫の飼い主向けの相談会を実施することもいいでしょう。なお、本冊子40ページ～47ページは、飼い主にそのままコピーして渡せる内容です。ご活用下さい。

#### 1 不妊去勢手術

猫は年に2～3回の出産が可能で、あっという間に増えてしまいます。必ず不妊去勢手術を！

#### 2 室内飼育

猫は室内で十分に安心して暮らせます。交通事故や感染症、近所迷惑も防げます。

#### 3 飼い主明示

マイクロチップや、首輪&名札で身元を表示し迷い猫をなくしましょう。

#### 4 終生飼養

一生涯飼い続けることが飼い主の責任です。また、猫を捨てることは犯罪です。

### ■ 猫の飼い主向け相談会

犬のように譲渡後に譲渡された猫を連れて集まってもらうことは実際にとっても困難ですが、飼い主だけでも集まってもらって近況報告をしたり、飼育の相談に乗ったり、飼い主同士が情報交換をしたりすることで、適正飼養を進めていくことができます。模範的な飼い主のネットワークが作られ、また動物愛護管理行政のよき理解者となってもらえるでしょう。



「茶話会」として案内すると猫の飼い主も参加しやすい

## 「不妊去勢手術」「室内飼育」を実践してもらうには……

猫の適正飼養の鍵となる「不妊去勢手術」や「室内飼育」の重要性を説明しても、なかなか実行に移してくれない飼い主もいます。人によって「なるほど、そうか、ではやってみよう」と理解し実行するに至るポイント＝納得のツボは異なります。「なぜそれを行うのか」「それによるメリットは何か」「それをしないことによるデメリットは何か」を、具体的な例や客観的事実、飼い主に合わせて伝えて納得のツボを刺激しましょう。以下はそのアプローチの例です。

### ■ 不妊去勢手術を実践してもらうには……

#### \* 猫の繁殖力を伝える

「猫は一回の出産で4～8頭の子猫を産み、1年に2～4回の出産が可能です。産まれた子猫をすべて飼うことができますか？」

#### \* 猫の安全を守るためと伝える

「室内飼いでも、さかりがつくと相手を求めて外に出ようと脱走します。交通事故も危険です」「オスは特にメスをめぐる喧嘩が多い。去勢すれば喧嘩が少なくなりケガや感染症を防げます」

#### \* ご近所からの苦情対策として伝える

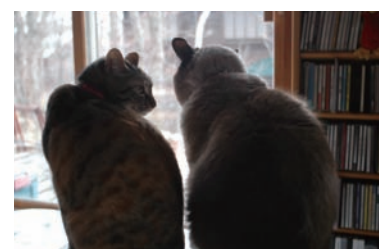
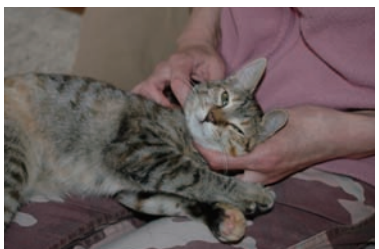
「手術すれば、さかりがついてうるさい、と言われなくなりますよ」「生まれた子猫が野良猫になってしまったら苦情を言われますよ」

#### \* 猫の健康と長生きのためと伝える

「メス特有の子宮蓄膿症や乳腺腫瘍などの病気を防ぐことができます」

#### \* 問題行動の解決法として伝える

「去勢すると、オスのスプレー行動（家具などに強烈な臭いの尿をかける）が防げます」



### ■ 室内飼育を実践してもらうには……

#### \* 適切な室内飼育の方法を伝える

室内飼育の方法をビデオや写真を使って見せて、環境を整え飼い主がコミュニケーションをとることで猫は室内飼いでも十分に幸せに暮らすことができることを伝えます。

#### \* 事実を伝える

##### ① 交通事故で死亡する猫の数を伝える

地域の清掃局に年間どのくらいの数の猫の路上死体を收容するかを確認し、その数を伝えたり、事故にあった猫の写真を見せて、視覚に訴えることも効果的です。

##### ② 感染症の恐怖を伝える

外へ自由に出ることによって病気に感染する可能性があるとは知っていても、その病気がどんなものか、治療にどの程度時間やお金がかかるのか具体的に知らない飼い主も多いものです。感染症にかかった猫の悲惨な写真を見せたり、治療の苦勞、治療費の概算などを具体的に示すといいでしょう。

##### ③ ご近所トラブルの深刻さを伝える

猫の排泄などによって発生した近隣トラブルの実例を伝えましょう。ご近所の関係がぎくしゃくしたという程度から、近所同士におきる裁判や事件発生などの例も把握しておくとういでしょう。

##### ④ 虐待の事実を伝える

動物に対する虐待などの事例を、写真なども使って伝えましょう。また連れ去りの事実もあることも伝えましょう。